

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

【区民の声集約プロセスの強化】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

市民満足度を高める能力を備えた区役所職員が、性別・年齢・居住年数等において多様な「サイレント・マジョリティ」を含めた区民の声を的確に把握し、区政運営への反映に取り組み、住民主体の自治の実現、区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり、区民が満足・納得できる区役所運営が図られている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【平成26年度区民モニター】※＜＞は25年度区民モニター

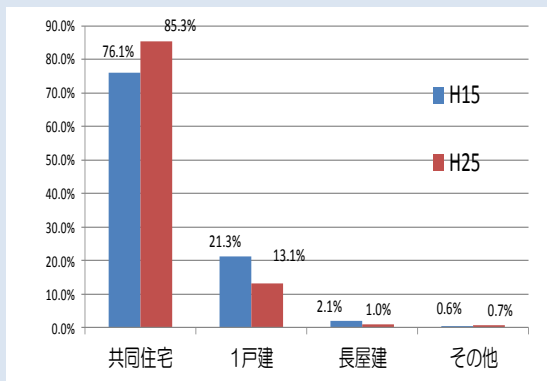
- ・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合 29.4%＜12.2%＞
- ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、計画段階から区民との対話や協働により進められていると感じる区民の割合 22.2%＜13.1%＞
- ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、多様な区民による評価が区に届いていると感じている区民の割合 22.0%＜10.8%＞
- ・基礎自治に関して、特色ある施策・事業が展開されていると感じている区民の割合 40.4%＜37.9%＞
- ・区長の顔や名前を知っている区民の割合 52.9%＜46.1%＞
- ・日常生活に関する様々な相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じている区民の割合 78.5%＜70.2%＞

【平成26年度区役所業務格付け調査】

- ・区役所来庁者サービス格付け ☆1つ 3.0点/5点

【平成26年度職員アンケート】※＜＞は25年度職員アンケート

- ・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合 82.9%＜75.8%＞
- ・効果・効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合 80.8%＜74.2%＞

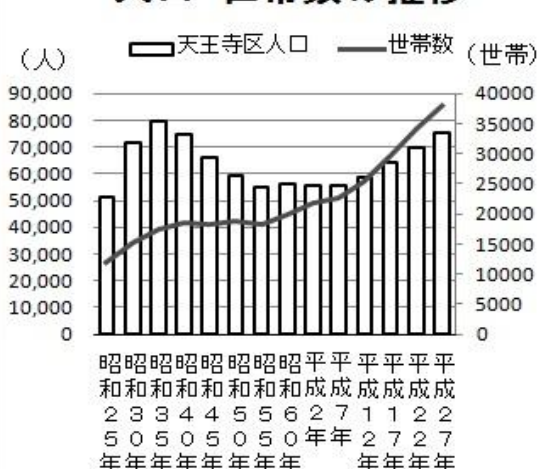


区における各建て方の割合（住宅土地統計調査より）

【参考 平成27年9月1日現在人口】

区民人口 75,377人
 （男性34,965人、女性40,412人）
 世帯数 37,942世帯

人口・世帯数の推移



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

市政改革プラン「アクションプラン編」の成果目標とする全区共通の設問において、肯定的意見の平均値の上昇幅は全区の中でトップであり、また、区民の多様な意見やニーズが区役所に届いている、あるいは区政運営について区民による評価が区に届いていると感じる割合は倍増している。ただ、いずれも20%台であり依然として低い水準にあると言え、区政運営の「見える化」を意識した情報発信が不十分であったことが要因である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・区内の基礎自治に関する施策や事業にかかる決定権の局から区長への移譲に伴い、地域の特性・実情に即した施策・事業を展開するため、地域課題の的確な把握やPDCAサイクルの確立による不断の事務事業の見直しなど、区役所の総合力のより一層の向上。
- ・区民の日常生活を担う身近な総合拠点としての区役所および真の住民自治の確立に向けた改革の取組を進めるため、改革を担う職員づくり、改革を支える人材マネジメント。
- ・「区民の意見の施策等への反映状況の「見える化」」を意識した情報発信の強化

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 1-1 【区民の声の区政への反映】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・区役所が、区民の意見やニーズを的確に把握することにより、区の特性や地域実情に応じた施策・事業を展開できている状態。 ・区役所が、区民に対して区政運営についての十分な情報を届け、理解を得ている状態。 ・区役所が、区政運営について、PDCAサイクルを適切に運用している状態。		区政への関心の高さによって、意見聴取方法を工夫し、サイレントマジョリティを含めた区民の意見やニーズを把握することにより、区政運営及び区において実施される本市事務事業への、区民の意見・評価を反映するとともに、効果的な情報発信を行う。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思うか。 ・区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思うか。 ・区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思うか。 ・区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じるか。 ・区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じるか。 のそれぞれに、肯定的回答をした区民の割合 平成29年度までに、すべて60%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
自己評価	A: 順調 B: 順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 1-1-1 【区政会議の開催と意見・評価の反映】

		26決算額	170千円	27予算額	556千円	28予算算定額	371千円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	区政会議を、区政有識者会議と区政戦略会議とに二分し、さらに議論を活性化させ、区政会議における意見・評価を、区運営方針及び区において実施される本市事務事業に反映させる。 区政会議の開催 2回		区政会議委員を対象としたアンケートで意見が区政運営に活かされていると感じる委員の割合 70%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には会議の運営方法を再構築する				
計画			前年度までの実績				
			平成27年度（予定） ・区政会議の開催 2回 ※達成状況（未測定） 平成26年度 ・区政会議の開催 2回 ※達成状況 71.4% ・有識者会議の開催 1回 ・戦略会議の開催 1回 ・懇話会の開催 6回				
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定（未測定）					
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況						
自己評価	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須						
自己評価	①: 目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定（未測定）					

具体的取組 1-1-2

【区民モニター(区政評価員)の活用】

		26決算額	1,029千 円	27予算額	1,140千 円	28予算算定額	1,231千 円	
計画	取組内容			業績目標 (中間アウトカム)				
	区民モニターを区政評価員と位置づけ、区の施策・事業に対する、多くの多様な区民の意見やニーズ、施策・事業の成果・評価などに関する情報を収集・分析し、施策・事業の企画・立案から実施など全般に渡る意思決定に役立てるために、調査を実施する。 ・調査回数 2回(別途、格付け1回) ・調査対象者数 区実施(2回) 初回 1,500名(無作為抽出) 2回目は初回回答者 市民局実施(格付け1回) 1,500名(無作為抽出)			区実施の初回回答割合 30%以上 【撤退基準】 15%未満の場合にはアンケートの手法を再構築する				
				前年度までの実績				
			平成27年度 調査回数2回(別途、格付け1回) モニター数345名 ※達成状況 23.0% 平成26年度 調査回数3回(別途、格付け1回) モニター数288名 ※達成状況 19.2%					
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成							
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成							
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組 1-1-3

【あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取】★

		26決算額	122千 円	27予算額	183千 円	28予算算定額	214千 円
計画	取組内容			業績目標 (中間アウトカム)			
	区政運営にかかる意見や評価をいただくために、区役所職員から構成される区民の声集約チーム～あなたの声をつなげ隊～のメンバーが中心となって、意見聴取を行う。区民と直接対話を行うことで、区民モニター(区政評価員)でも捕捉できない区政への関心の薄い、サイレント・マジョリティの意見やニーズを的確かつ着実に把握する。 集約テーマ数 2テーマ以上			直接対話件数2,000件 集約意見の随時公表(区広報紙・ホームページ等) 【撤退基準】 直接対話件数が1,500件未満の場合には意見聴取手法を再構築する			
				前年度までの実績			
			平成27年度(10月上旬) 6テーマ 意見聴取件数 1,751件 平成26年度 6テーマ 意見聴取件数 2,086件				
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 1-1-4

【区政運営の“見える化”を意識した情報発信の強化】★

26決算額	14,053千 円	27予算額	15,919千 円	28予算算定額	15,622千 円
-------	-----------	-------	-----------	---------	-----------

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	区広報紙や広報板、ホームページ等を活用し、聴取した区民意見の区政への反映状況について、“見える化”を意識しながら、分かりやすい情報発信を行う。		区役所が積極的かつ効果的に区政運営について、情報発信をしていると感じる区民の割合 60%	
	・ 広報紙において“区民の声の反映状況の特集” 2回 ・ 区民の声の反映状況について、広報板に掲出 随時		【撤退基準】 30%未満の場合には、広報の手法を再構築する。	
			前年度までの実績	
			平成27年度(10月末現在) 区広報紙紙面構成を変更(5月号より) 新規配架先の開拓(薬局等44カ所)	
			平成26年度 区広報紙リニューアル(5月号より) 新規配架先の開拓(理髪店・スーパー等23カ所)	
			平成25年度 区広報紙1面で新規施策を区長が紹介 8回	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 1-2 【区民に身近な総合行政の拠点、安心・安全を担う総合拠点としての区役所づくり】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・区役所が、区民から寄せられる様々な相談や要望を総合的に受け付け、関係局等への連絡や指示を適切に行うなど、区における市政の総合窓口としての役割を果たしている状態。 ・区役所が区民の安心・安全を担う総合拠点として、危機事象への備えができていない状態。	・区民の日常生活を担う身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな相談や要望を受け付け、関係局等と連携して適切に対応する。 ・区民の安全・安心を担う、区民に身近な総合行政の拠点として、災害をはじめ市民生活に重大な影響を与える様々なリスクに対処するために、職員の災害対応能力の向上を図る。
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	
	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民が、区役所は、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思うか。に、肯定的回答をした区民の割合 平成30年度までに 80%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組 1-2-1 【総合窓口機能の充実、安心・安全の拠点づくりの推進】

		26決算額	—	円	27予算額	—	円	28予算算定額	—	円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）								
	・つなげ隊、市民の声、ICT等を通じて区に寄せられた区民の意見・要望に対して、総合窓口としてワンストップで対応しながら、所管局において対応すべき事項については、速やかに所管局等関係機関に伝達し、連携して課題解決に取り組む。また、市民の声を基本としてその対応状況を1ヶ月毎に取りまとめ、専用コーナーを設けたうえでホームページで公開する。 市民の声に関するもの 各月1回 区政会議やつなげ隊等により聴取したもの 適時 ・職員の災害対応能力の向上を図るため、職員を対象とした防災訓練・避難訓練を実施する。 1回	・区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民が、区役所は区における市政の総合窓口として、適切に対応したと感じる区民の割合 80%以上 ・訓練により非常時に取るべき行動を理解したと考える職員の割合 90%【撤退基準】 ・適切だと感じる区民の割合が50%未満の場合には対応方法のあり方を再構築する。 ・非常時の行動を理解していない職員の割合が70%未満の場合には訓練の実施方法を変更する。								
計画		前年度までの実績								
		平成26年度 防災訓練・避難訓練 各1回実施 平成25年度 防災訓練・避難訓練 各1回実施								

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
中間振り返り	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）

めざす成果及び戦略 1-3 【改革を担い支える職員づくり、人材マネジメント】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞ ・チャレンジ精神を有する職員により区役所の業務が効果的・効率的に運営されるような取組が進められており、区民がそのことを知っている状態。 ・区役所来庁者等に対する窓口サービスを向上させ、自治体トップレベルのサービスを実現している状態。	戦略＜中期的な取組の方向性＞ ・職員が前向きで主体性・チャレンジ意識を持つよう、さらに区民の声を的確に把握し、それに応じた施策を企画立案する力やコーディネート力を向上させていく。また、区役所の効率的・効果的な業務運営の取組を紹介する。 ・職員が窓口や電話対応に対する資質を向上させるとともに、区民の意見をふまえて快適に利用できる区役所を追求する。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っているか。に、肯定的回答をした区民の割合 平成29年度までに 60%以上 ・区役所を過去1年間に訪れた区民が、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じたか。に、肯定的回答をした区民の割合 平成29年度までに 80%以上 ・区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数 平成29年度までに 3.5点以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 1-3-1 【職員づくり、人材マネジメントにかかる基本方針に沿った取組の推進】

計画	取組内容 ・行政としての“プロ意識”の徹底により、不断の市民サービスの向上及び不適切事務ゼロの実現に取り組む。 ・職員づくり、人材マネジメントにかかる基本方針「天王寺区役所 職員力向上基本プラン」に沿って、人材開発センターを活用しながら取組を推進する。 職員塾等の開催 年4回以上 ・区役所の業務が効果的・効率的に運営されるよう、効果的な事例の共有や関係所屬とも連携を図りながら、業務プロセスの改善・事務の集約化などについて検討する。 随時	26決算額 — 円 27予算額 — 円 28予算算定額 — 円
	業績目標（中間アウトカム） 基本方針に沿った取組が職員づくり・人材マネジメントの推進に有効だと感じる職員の割合 90%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には基本方針を再構築する 前年度までの実績 平成27年度(予定) 職員塾の開催5回 ※達成状況(未測定) 平成26年度 職員塾の開催6回 ※達成状況 91%	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-3-2

【快適に利用できる区役所の追求】

		26決算額	7,853千 円	27予算額	286千 円	28予算算定額	394千 円
計 画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	来庁者の快適度を向上させる取組を推進していく。 接遇に関する窓口アンケートの実施 1回以上 接遇研修の実施 3回以上 区民意見をふまえた設備等の改修 随時			来庁者の満足度 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には取組内容を再構築する			
				前年度までの実績			
				平成27年度（予定） 接遇に関する窓口アンケートの実施2回 接遇研修の実施6回 各階のフロアカラーを多用した庁舎内案内表示の設置 エレベーター内に防災キャビネットチェアを設置 ※達成状況 83%（1回目）			
				平成26年度 接遇に関する窓口アンケートの実施1回 接遇研修の実施6回 2階保健福祉課の来庁者ゾーンの拡大とキッズルームの設置 1階タイルカーペット新調と各階トイレ防臭コーティング実施 ※達成状況 83%			

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況			
			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性			○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2【「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞				
	天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。 だからこそ、学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための「社会教育」の機会が提供されている状態。				
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）				
	・天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。 ・区内人口の約46%が40歳未満で子どもや子育て世代が多い。(22年国勢調査) (参考) ・平成26年10月1日現在年齢別推計人口より:0～19歳人口割合は 24区中5番目 【平成26年度 学校基本調査】 中学校数 9校(24区中4番目) 中学校生徒数 5,577名(24区中2番目) 高等学校数 12校(24区中1番目) 高等学校生徒数 15,844名(24区中1番目) 高等学校生徒数は、市全体の約20%を占める。 【待機児童数】 ・平成27年8月1日時点 天王寺区 17 人(他区データ無し) ・平成27年4月1日時点 天王寺区 11人 市全体 217人 (24区中8番目に多い) ・平成26年4月1日時点 天王寺区 21人 市全体 224人 (24区中4番目に多い) 【平成27年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】 天王寺区の未来人材育成施策の主な事業へのご意見(役に立つ・役に立たない) 中高生向けインターンシップ 役に立つ:205人(88%) 役に立たない:28人(12%) レジェンド・イン・ハイスクール 役に立つ:200人(86%) 役に立たない:33人(14%) ※(%)は総数233人に対する割合 80歳以上 年齢不詳 5.2% 2.4% 0～19歳 16.9% 20～39歳 29.3% 60～79歳 19.4% 40～59歳 26.9% 区内人口構成 (平成22年国勢調査による) <tr><td>要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞</td></tr> <tr><td>・区内各学校が教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。 ・区における社会教育事業への期待度が高い。</td></tr> <tr><td>課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞</td></tr> <tr><td>・子どもへの重点投資のさらなる促進。 ・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。 ・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。 ・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。</td></tr>	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞	・区内各学校が教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。 ・区における社会教育事業への期待度が高い。	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	・子どもへの重点投資のさらなる促進。 ・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。 ・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。 ・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞				
	・区内各学校が教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。 ・区における社会教育事業への期待度が高い。				
	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞				
	・子どもへの重点投資のさらなる促進。 ・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。 ・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。 ・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。				

自己 評価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 2-1 【地域の未来を担う人材の育成】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・ロジカルシンキング(論理的思考)の習得機会と、外国の文化等についても理解・尊重できる学習機会とが提供されている状態 ・学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための質の高い「社会教育」が提供されている状態 ・未来を担う人材育成に、乳幼児期から取り組んでいる状態 ・子育てに必要な情報を必要な時に的確に発信できている状態 ・保育所持機児童が解消された状態の継続	・小中学生を対象に、グローバル社会に対応した学習機会を提供し、英語力の向上、ロジカルシンキング(論理的思考)の習得、外国の文化等の理解・尊重できる能力の向上を図る。 ・年齢層に応じた社会教育機会の提供とあわせて、社会との関連を継続的に学ぶうえで重要である社会貢献ボランティア活動への参画支援。 ・乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供することにより、子どもの将来への投資の促進を図る。 ・きめ細やかな情報提供や、子育て支援施設・サービスの利用促進を行うことにより、子育て世帯の子育てに関する様々な悩みや不安の解消を図る。 ・小規模保育事業の実施など、あらゆる手法により、増大する需要を上回る保育サービスの量的拡充を行い、就労を希望する人が仕事と出産・子育てを共に選択できるよう取り組む。
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	
	・英語ディベートスクール参加者の満足度 70% 平成28年度 ・英語体験活動参加者の満足度 70% 平成28年度 ・インターンシップ参加者の満足度 70% 平成28年度 ・乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちであると感じる区民の割合 80% 平成28年度 ・子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合 80% 平成30年度【重点目標】 ・保育所持機児童が解消された状態の継続	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 2-1-1 【グローバル人材の育成（英語ディベートスクール、英語体験活動）】

26決算額 4,111千 円 27予算額 4,110千 円 28予算算定額 3,000千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	中学生を対象に実践的な英対話力を向上させるためのディベートスクールを行うとともに、新たに小学生を対象として、英対話力向上の素地を養う体験学習を実施し、意欲的に海外に挑戦し活躍できる人材を育成する。 英語ディベートスクール(中学生) 8回 英語体験学習(小学生) 2回 成果発表会 1回	・ディベートスクール参加者の満足度 70% ・英語体験学習の満足度 70% 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。 前年度までの実績 平成27年度(予定) ディベートスクール 12回 国際交流カフェ 6回 成果発表会 1回 ※達成状況(未測定) 平成26年度 ディベートスクール 12回 国際交流カフェ 6回 成果発表会 1回 ※達成状況 ディベートスクール 80% 国際交流カフェ 88%

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 2-1-2

【イノベーション人材の育成(中高生インターンシップ、レジェンド・イン・ハイスクール事業)】

		26決算額	1,473千 円	27予算額	2,191千 円	28予算算定額	2,085千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	≪イノベーション人材育成事業≫ ・中高生向けインターンシップ ・将来の起業家を育成するため、社会で必要となるスキルを養う企業・事業所等でのインターンシップを実施 参加者数 10名			≪イノベーション人材育成事業≫ ・自分の将来に役立つと感じるインターンシップ参加者の割合 70%以上 ≪レジェンド・イン・ハイスクール事業≫ ・参加生徒の満足度 80%以上 【撤退基準】 ≪イノベーション人材育成事業≫ ≪レジェンド・イン・ハイスクール事業≫ ・50%未満の場合には事業を再構築する。			
	≪レジェンド・イン・ハイスクール事業≫ ・子どもが夢に挑戦する意欲をかきたて、チャレンジ精神あふれる人材の育成を図るために、区内の公立中・高校生がスポーツ等の分野で成功を収めた方(元プロ選手など)から部活動において身近に指導を受ける機会を提供する。 年間11回程度 1回あたり2～3時間程度の指導			前年度までの実績 平成27年度(10月末現在) ・インターンシップ 参加者 14名 ※達成状況 100% ・レジェンド・イン・ハイスクール 8回実施 ※達成状況(未測定) 平成26年度 ・インターンシップ 参加者 10名 ※達成状況 90%			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 2-1-3

【次世代の地域担い手の育成】

		26決算額	218千 円	27予算額	337千 円	28予算算定額	331千 円	
計 画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）				
	≪天王寺区ジュニアクラブ活動≫ 学校・家庭・地域との協働により、小学校4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援 活動 年5回			今後も活動（ボランティア等）に参加したいという会員 70%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。				
				前年度までの実績				
		平成27年度（予定）		活動回数 年5回 ※達成状況（未測定）				
		平成26年度		活動回数 年5回 ※達成状況 95%				
中 間 振 り 返 り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成							
	戦略に対する取組の有効性			○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				
自 己 評 価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況							
				改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
		①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
		戦略に対する取組の有効性			○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組 2-1-4

【子どもの将来のための投資の促進】

		26決算額	6,733千 円	27予算額	9,294千 円	28予算算定額	12,725千 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券（クーポン券：10,000円分）を交付する。 （平成28年度新規対象者数 780名）	子育てスタート応援券の申請率 80% 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。					
		前年度までの実績					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組 2-1-5

【子育て世帯の支援体制の充実】★

		26決算額	3,476千 円	27予算額	2,260千 円	28予算算定額	1,699千 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	・虐待担当者・保育士・家庭児童相談員・保育コンシェルジュのチームが、保健師や栄養士と連携し、こどもの心身の発達・性格行動・しつけ等のさまざまな相談への対応、専門機関や保育所・幼稚園を含む地域の子育て資源に関する情報提供を行う。 随時 ・スマートフォン等の情報端末に対応した天王寺区子育て情報アプリ「ぎゅっと!」により、子育てに必要な情報(区内の保育園や幼稚園、医療機関、イベント情報等)を養育者に配信する。 随時 ・子育て支援施設やサービスの利用促進を図るため、子育て支援機関が子育て世帯に直接取組内容を説明する場を提供するとともに、子育ての専門家等によるワークショップを通じて子育て世帯の交流機会を提供する「子育て情報博覧会」を開催する。 年1回 120世帯	・子育て情報アプリ 利用者満足度80%以上 ・子育て情報博覧会 参加者の満足度 80%以上 【撤退基準】 ・子育て情報アプリ 利用者満足度が50%未満の場合、事業を再構築する。 ・子育て情報博覧会 60%未満の場合には事業を再構築する。					
		前年度までの実績					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					

26決算額 ー 円 27予算額 ー 円 28予算算定額 ー 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	区内の保育ニーズに対応するために、保育所等の誘致をはかる。 所管局へのはたらきかけ 随時		保育所待機児童の解消	
			【撤退基準】 保育所待機児童が解消されなければ、事業を再構築する。	
			前年度までの実績	
			平成27年度 平成27年4月1日時点待機児童数 11人 ・保育所本園整備 1園	
			平成26年度 平成26年4月1日時点待機児童数 21人 ・保育所本園整備 1園 ・小規模保育施設の開設 1カ所	
			平成25年度 平成25年4月1日時点待機児童数 19人 ・保育所本園整備 1園 ・保育ママの開設 3カ所	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			
			○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性			
			○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3		【お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉】							
計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞								
	急病時・災害時に高齢者が孤立しないよう、見守り体制が再構築され、見守りが必要な全ての高齢者が見守られている状態 全ての高齢者が交流できている状態								
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）								
	【天王寺区における65歳以上の人口の割合】 平成17年 11,387人/64,137人(17.8%) 平成22年 12,680人/69,775人(18.2%) 人口、65歳以上人口ともに増加している。 高齢化率 18.2%(市22.5%、国22.8%) 65歳以上で一人暮らしの割合 39.8%(市41.1%、国24.8%) 不安や悩みを相談できる相手や、交流する機会を持たない75歳以上の高齢者 15.2%（平成24年度 区民モニター） その他の世帯 34.8% <table><tr><td>ひとり暮らし</td><td>39.8%</td></tr><tr><td>夫婦のみ世帯</td><td>25.4%</td></tr><tr><td>その他の世帯</td><td>34.8%</td></tr></table> 65歳以上の人がいる世帯の状況（天王寺区） （平成22年国勢調査による）			ひとり暮らし	39.8%	夫婦のみ世帯	25.4%	その他の世帯	34.8%
	ひとり暮らし	39.8%							
	夫婦のみ世帯	25.4%							
その他の世帯	34.8%								
要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞									
65歳以上の高齢者世帯のうち4割が独居高齢者であり、国の平均を大きく上回っており、また普段から周りとの交流機会を持たないなど、急病時・災害時において孤立化する高齢者が相当数いると考えられる。									
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞									
教育機関・企業・NPOなども巻き込んだ重層的な見守り体制の構築。 高齢者の交流機会の充実。									
自 己 評 価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括								

めざす成果及び戦略 3-1 【高齢者見守り体制の構築】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	・急病時・災害時に孤立する独居高齢者等がない見守り体制が構築されている状態 ・公共交通機関の不便な地域の高齢者、障がい者に必要な移動支援サービスが提供されている状態		・地域で実施されている活動と連携し、見守りが必要な独居高齢者等の生活や体調の異変を早急に察知して対応する見守り体制の構築 ・避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対する、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えの強化 ・公共交通機関の不便な地域の高齢者、障がい者向けの移動支援サービスの提供	
自己評価	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>			
	・独居高齢者等の見守り体制が構築されていると感じる区民の割合 80% 平成28年度【重点目標】 ・移動支援サービスの対象者に対するアンケートにより本制度が日常の外出に役立つと回答する方の割合 80% 平成28年度			
	戦略のアウトカムに対する有効性		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況		A: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す	
	戦略の進捗状況		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
		A: 順調 B: 順調でない		
		a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 3-1-1 【独居高齢者等見守りサポーター事業】★

		26決算額	5,055千 円	27予算額	6,359千 円	28予算算定額	5,853千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	地域住民などを中心としたボランティアが独居高齢者、高齢者のみ世帯の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る。 対象世帯 約250世帯のうち、見守り希望者を把握し、月に1回程度訪問（平成25～26年度に見守りを希望した514世帯については見守り訪問を継続）		独居高齢者等への見守り体制が構築されていると感じる区民の割合 80%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。				
中間振り返り	業績目標の達成状況		前年度までの実績				
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		・平成27年度 本事業による見守り実施地域 6地域 ※達成状況(未測定) ・平成26年度 本事業による見守り実施地域 6地域 ※達成状況59.3% ※実施地域内の対象世帯については月1回程度定期的に訪問、実施地域以外の対象世帯については2～3ヵ月に1回程度定期的に訪問				
	戦略に対する取組の有効性		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		O: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組3-1-2

【地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】★

		26決算額	— 円	27予算額	14,632千 円	28予算算定額	13,771千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対して、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化する。 ・調査員による要支援者名簿にかかる同意確認・名簿整備 対象者 約1,000人(身体障がい者手帳1・2級) ・「見守り支援ネットワーク」による孤立世帯等への専門的対応 随時 ・「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護 随時		「要援護者名簿」の提供にかかる同意が得られた対象者数 600人以上 【撤退基準】 450人未満の場合には事業を再構築する。				
			前年度までの実績 平成27年度(10月末現在) 同意が得られた対象者数 100人(要介護3以上または要介護2以下で認知症のある方)				

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況						
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組3-1-3

【下寺町地域の高齢者・障がい者等向けの移動支援サービスの提供】★

		26決算額	— 円	27予算額	2,332千 円	28予算算定額	1,400千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	公共交通機関の利用が不便な下寺町地域の高齢者、障がい者の日常の外出を支援するために、タクシーの利用補助を行う。		移動支援サービスの対象者に対するアンケートにより本制度が日常の外出に役立つと回答する方の割合 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には制度を再構築する。				
			前年度までの実績 平成27年度 達成状況(未測定)				

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況						
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題4

【より多くの人の「災害対策リテラシー(*)」を向上する事業の追求】

*「災害対策リテラシー」…災害への対策を理解し、対応できるようにする能力

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

災害対策リテラシーの向上による区民の自助・共助力の強化、並びに公助力の充実を図ることにより、いつ大災害が起きても区民の命が守られ、ライフラインが途絶しても1週間、自宅または避難所で安心して生活（生き残れる）ができる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【災害対策】

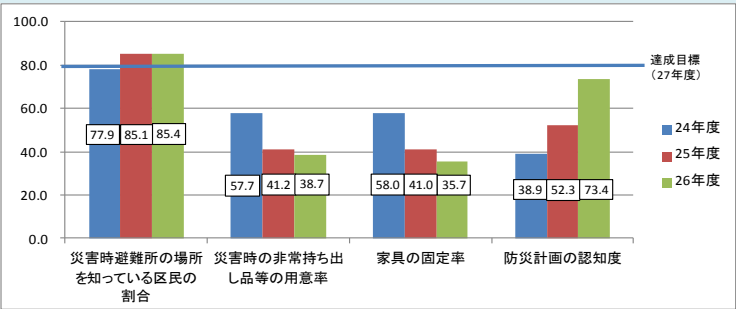
○上町断層帯地震による被害想定

最大死者数 573名（人口千人あたりの死者数 24区中第2位）
建物全半壊棟数 6,813棟（建物数比率 24区中第4位）（危機管理室調べ）

○南海トラフ地震による被害想定

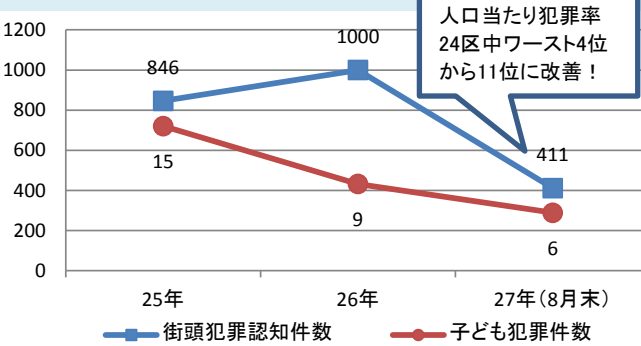
最大死者数 3名
建物全半壊棟数 766棟（大阪府防災会議 公表）

【24・25・26年度区民モニター】

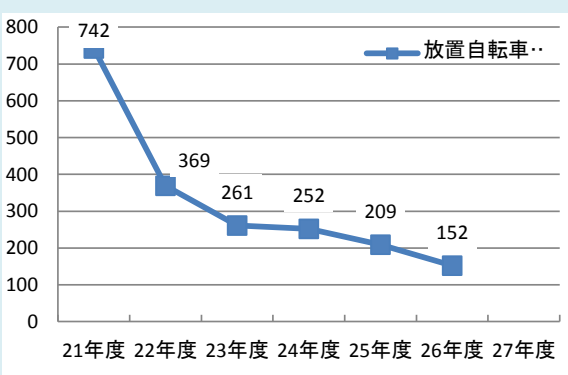


○災害時避難所開設運営訓練実施済区域 9地域（9地域中）

【こどもの安全】天王寺区内における犯罪件数



【放置自転車】放置自転車の台数の推移



【平成27年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】

防犯・自転車に関するご意見 84件(12.4%)

・自転車マナーに関すること 48件 ・防犯カメラ増設に関すること 16件 ※(%)は総数675件に占める割合

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・いつ大災害が起きても区民の命が守られる状態にするためには、区民の自助力・共助力の向上を図ることが重要な取り組みのひとつであるが、災害時の持ち出し品等の用意率や家具の固定率が低下している。
- ・街頭犯罪件数は増加傾向にあり、子どもへの犯罪被害も毎年発生しているが、防犯カメラ設置の効果は表れている。
- ・放置自転車台数は年々減少しているが、近年は横ばい状態である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」の向上による徹底した自助力・共助力の強化
- ・マンション住民の激増を踏まえ、行政・地域とが連携した災害対策の推進
- ・災害時に支援を要する人を助けあう地域のつながりづくり
- ・子どもが犯罪被害、街頭犯罪の抑止に向け、効果が高い防犯カメラの増設
- ・火災など災害時の救助活動の妨げとなる駅周辺の放置自転車対策の更なる推進、自転車マナーの向上

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 4-1 【減災のための取組の強化（事前の備え）】

計 画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	減災(事前の備え)に取り組む区民の増	減災(事前の備え)に関心の薄い層が災害対策情報等に触れる機会を充実し、区民の自助・共助の取組を促進する。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	
	・災害時の持ち出し品等の用意率 平成30年度 世帯数の70%【重点目標】 ・家具の固定率 平成30年度 世帯数の70%【重点目標】 ・自らが居住する地域の地域防災計画を知っている区民の割合 平成29年度 70%	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

	A：順調 B：順調でない
戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない

具体的取組 4-1-1 【区民巻き込みオペレーションの展開】★

	26決算額	259千 円	27予算額	560千 円	28予算算定額	316千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	参加体験型の講座やイベント開催時の即席講座等、区役所が積極的に地域に出向く「出前講座」を実施する。 出前講座では、東日本大震災における被災地の状況も伝えることとし、災害対策の意識の向上に取り組む。（出前講座等12回実施）		・「出前講座」実施後のアンケートにおいて「今後に活かせる」と回答する割合 80% ・災害時の非常持ち出し品の用意率 世帯数の50% 【撤退基準】 ・「出前講座」実施後のアンケートにおいて「今後に活かせる」と回答する割合が60%未満の場合には事業内容・手法を再構築する。 ・災害時の非常持ち出し品の用意率が前年度の割合を下回った場合には事業内容・手法を再構築する。			
			前年度までの実績 各種出前講座等の実施回数および出前講座実施後のアンケートにおいて「今後に活かせる」と回答した割合 平成27年度（9月末現在） 8回 ※達成状況 93.4% 平成26年度 26回 ※達成状況 99.7% 平成25年度 30回 ※達成状況 88.4% 災害時の非常持出品の用意率 平成27年度未測定 平成26年度38.7% 平成25年度41.2%			

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）

具体的取組 4－1－2 【災害対策情報の発信】★

26決算額		242千 円	27予算額	275千 円	28予算算定額	274千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	・災害対策情報を確実に伝えるため、災害に対する事前の備え等をわかりやすく、簡潔にまとめた区広報紙特集号(8月号)を作成・配付する。 ・区防災計画について、出前講座等を通じて区民への周知を図る。		・区広報紙の内容は、災害に対する意識の向上に役立つと感じる区民の割合 80% ・区防災計画が策定されていることを知っている区民の割合 80% 【撤退基準】 ・区広報紙の内容は、災害に対する意識の向上に役立つと感じる区民の割合が50%未満の場合には手法を再構築する。 ・区防災計画が策定されていることを知っている区民の割合が、60%未満であれば周知徹底を図る。			
			前年度までの実績 平成27年度 広報紙8月号に防災特集を掲載 平成26年度 広報紙8月号に「保存版防災特集」を掲載 平成25年度 広報紙8月号に「いつ災害の備えをするか？“今”です！」を掲載 区防災計画概要版を配付 ※達成状況 区広報紙 26年度83.5%、27年度(未測定) 区防災計画 25年度52.3%、26年度73.4%、27年度(未測定)			

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)			

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性			○: 有効 ×: 有効でないため見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 4－1－3 【家具転倒防止器具取付啓発事業】★

26決算額		914千 円	27予算額	2,242千 円	28予算算定額	99千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	全世帯を対象に、家具転倒による被害を最小限にとどめるため、取付方法等を掲載したパンフレット、ポスターを作成し、家具転倒防止器具の取付の啓発を行う。 出前講座等での事業の周知 少なくとも20回以上 個々のマンションへの働きかけ 10回以上		家具の固定率 世帯数の50%以上 【撤退基準】 前年度の割合を下回った場合は、事業内容・手法を再構築する。			
			前年度までの実績 ・平成27年度(9月末現在) 家具転倒防止器具取付事業の実施 申請件数21件 ・平成26年度 家具転倒防止器具取付事業の実施 取付件数101件 ・平成25年度 家具転倒防止器具取付事業の実施 取付件数200件			

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)			

自己評価

取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組 4－1－4 【地域防災計画の策定】★

		26決算額	— 円	27予算額	1,827千 円	28予算算定額	1,829千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	自主防災組織の体制や活動内容、災害時避難所の運営体制や配置図、備蓄品など、災害時、自主防災組織が中心となって防災活動を行うにあたり必要となる情報を概ね小学校区単位でまとめ、「地域防災計画」として作成する。			全9地域中3地域で作成（累計6地域で作成） 【撤退基準】 いずれの地域でも作成できなければ、事業手法を再構築する。			
				前年度までの実績 平成27年度（予定） 大江、聖和、生魂の3地域で計画を策定、当該地域に戸別配付			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成（見込）（ⅰ）取組は予定どおり進捗（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（ⅰ）取組は予定どおり進捗（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成（ⅰ）取組は予定どおり実施（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（ⅰ）取組は予定どおり実施（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

めざす成果及び戦略 4-2 【減災のための取組の強化(被災後の備え)】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	被災しても安心して安全に、自宅または避難所で生活できる区民の増	マンション住民の増加という状況をふまえ、被災しても自宅または避難所で安心して生活できる環境および住民相互の支援体制を整備する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

災害時避難所の場所を知っている区民の割合	
平成30年度 90%	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	

戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない
---------	-----------------

具体的取組 4-2-1 【マンションでの被災生活の支援】

	26決算額	678千 円	27予算額	481千 円	28予算算定額	27千 円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)				
	天王寺区はマンション等の集合住宅が非常に多いという地域特性があることから、マンションに特化した防災のあり方を周知する。 天王寺区内の高層マンション(約100棟)の管理組合及び管理会社を対象に個々のマンションの防災の取組状況や防災課題の共有会を開催 1回 個々のマンションへの働きかけ 10回以上	「マンション防災を考えよう」をテーマとする勉強会を開催し、アンケートで「今後に活かせる」と回答する割合 70% 【撤退基準】 上記割合が50%未満の場合事業手法を再構築する。				
		前年度までの実績				

・平成27年度	マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点設置 1ヵ所
・平成26年度	マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点設置 2ヵ所 勉強会 1回
・平成25年度	マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点設置 3ヵ所 一時避難所にかまどベンチを設置 10ヵ所 勉強会 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

具体的取組 4-2-2

【防災拠点の充実】

				26決算額	359千円	27予算額	1,413千円	28予算算定額	1,383千円	
計画	取組内容				業績目標（中間アウトカム）					
	災害時避難所における備蓄品の充実を図るとともに、避難行動要支援者のための福祉避難所を追加指定する。				災害時避難所における備蓄品の充実が着実に進められていると感じる区民の割合 60% 【撤退基準】 40%未満の場合には再構築する。					
	備蓄品の充実 20カ所 福祉避難所の指定 1カ所									
					前年度までの実績					
					・備蓄物資の充実 27年度 20カ所 ※達成状況(未測定) 26年度 20カ所 ※達成状況 56.3% 25年度 20カ所					
					・福祉避難所の指定 26年度 1カ所(累計 6ヶ所) 25年度 1カ所					

中核事業の進捗状況	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況			
			改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性			○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組4-2-3

【避難行動要支援者支援体制の構築】

		26決算額	—	円	27予算額	—	円	28予算定額	—	円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）								
	大規模災害発生時、避難等に支援が必要で、かつ、自宅で生活する避難行動要支援者について、支援体制を構築する。	災害時に安否確認等を希望する避難行動要支援者にかかる支援体制の構築 3地域（桃陽・大江・生魂） 【撤退基準】 支援体制の構築ができなければ、事業手法を再構築する。								
		前年度までの実績								
		平成27年度（予定） 3地域で支援体制構築								
		平成26年度 2地域で支援体制構築協議を開始								

中間アウツカム	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況			
			改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成				
戦略に対する取組の有効性			○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 4-3 【子どもの安全安心の確保】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	子どもが安全で安心して学び遊べるまち	子どもの自助力(自分で自分を守る能力)の向上とともに、通学路・公園等の安全確保を促進する。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	

子ども犯罪被害件数の対前年比減
参考:26年 9件、27年(1～9月) 5件

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	

戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない
---------	-----------------

具体的取組 4-3-1 【子どもが被害に遭わないための取組】★

		26決算額	1,445千 円	27予算額	8,024千 円	28予算算定額	3,786千 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	・小学生防犯教室の実施 市立8小学校1年生に「安全教室」の出前講座 区民まつりで「こどもミニ防犯教室」の開催(1回) ・防犯カメラを区内に公設置 25台	・子ども犯罪被害件数の対前年比減 参考:26年 9件、27年(1～9月) 5件 【撤退基準】 ・子ども犯罪被害件数が対前年比増の場合には事業を再構築する。					
		前年度までの実績					

・平成27年度(予定) 安全教室出前講座 8小学校で実施 こどもミニ防犯教室開催 小学校防犯教室への参加 1校 防犯カメラの公設置 4小学校区へ合計20台・その他街頭犯罪対策10台 「子ども見守り宣言」実施公園 1公園	・平成26年度 安全教室出前講座 8小学校で実施 こどもミニ防犯教室開催 小学校防犯教室への参加 1校 防犯カメラの公設置 2小学校区へ合計10台	・平成25年度 安全教室出前講座 8小学校で実施 こどもミニ防犯教室開催 小学校防犯教室への参加 2校 防犯カメラの公設置 2小学校区へ合計10台
---	--	--

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

めざす成果及び戦略 4-4 【だれもが安全で安心して通行できる道路の確保】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>	
	区内の鉄道駅周辺の放置自転車が減少している状態	区民との協働および関係局との連携により区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数の削減を図る。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>		
	区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数 対前年度比減 毎年度 参考:26年度152台、27年度(未測定)		

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体		
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
		A:順調 B:順調でない		
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		

具体的取組 4-4-1 【迷惑駐輪防止および自転車マナー啓発の取組】

		26決算額	73千 円	27予算額	184千 円	28予算算定額	98千 円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
	・駅周辺の放置自転車を無くし、安全で安心して通行できる道路の確保 ・駅周辺の地域住民と快適な環境づくりについて意見交換等を行い、「迷惑駐輪をしにくい環境づくり」に向けて、創意・工夫を活かした効果的で総合的な啓発事業を市民協働型で放置自転車対策事業(ゆめまちロード)を2駅で実施。 ・自転車マナー啓発キャンペーンの実施や警察と連携した出前講座の実施 ・放置自転車の撤去及び自転車駐輪場整備のための関係機関との協議	・「ゆめまちロード(*)」の実施 *企業・学校の協力のもと、放置自転車への啓発札の取付、道路上のごみ清掃などの活動 寺田町2回 桃谷1回 ・自転車マナーが向上したと感じる区民の割合 70% 【撤退基準】 ・ゆめまちロードの取組みが、上記いずれかの駅で1回も実施できない駅があれば事業手法を再構築する。 ・自転車マナーが向上したと感じる区民の割合が50%未満の場合、事業を再構築する。					
		前年度までの実績 ・平成27年度(予定) 寺田町2回 桃谷2回 ・平成26年度 寺田町2回 桃谷2回 玉造1回 ・平成25年度 寺田町2回 桃谷1回 ※上記業績目標(自転車マナー)は、27年度新たに設定					

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題5

【戦略的なシティ・プロモーションの推進】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞
	歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	【平成26年度 区民モニター】※＜＞は25年度区民モニター ・区役所が行う歴史的・文化的資産の情報発信が十分にできていると感じる区民の割合 66.8%＜71.9%＞ 【平成25年度 区民モニター】 ・区内にある歴史的・文化的施設やイベントなどの情報を発信し、多くの方に天王寺区を訪れていただきにぎわいのあるまちづくりをめざす方向性に賛同する区民の割合 86.6% ・区民の持つ天王寺区のイメージ 「神社仏閣が多い街」93.5% 「歴史のある街」91.9% 「文教都市（学校が多い街）」86.2% ・区民が今後PRに力を入れた方が良くと思うイメージ 「神社仏閣が多い街」20.3% 「歴史のある街」18.8% 「文教都市（学校が多い街）」10.9%
	【平成26年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】 ・天王寺区の今後の観光・集客の具体策へのご意見 区内観光マップの作成 168件(21%) 区内観光スポット・名所の案内板の設置 164件(21%) ホームページ・フェイスブック等での区内観光案内 155件(19%) ※(%)はいただいたご意見数(計800件)に対する割合
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
	・区民の持つ天王寺区のイメージと、今後PRに力を入れた方が良くと思うイメージとが一致しており、さらなるPRが求められている。 ・区内には、約200もの社寺や動物園、美術館など多くの歴史的・文化的資産が集積し、様々な伝統行事等が開催され、また、「天王寺 真田幸村博」を機に動き出した地域独自の取組が広がる中、区役所が行う情報発信が十分だと感じる割合は引き続き7割にとどまり、情報の効果的な発信が不十分と考えられる。 ・今後の方向性としてにぎわいのあるまちづくりに賛同する区民が多い。
	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞
	区内の歴史的・文化的資産の効果的な情報発信による天王寺区のまちのブランディングの強化
	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 5-1 【天王寺のまちのブランド力の強化】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできている状態		地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組を支援し、天王寺区のブランディングの一層の強化に取り組む。	
自己評価	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	天王寺区の魅力発信・観光振興ができていると感じる区民の割合 90%			
	戦略のアウトカムに対する有効性		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			
アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体
		A:順調 B:順調でない		
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		
		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須		

具体的取組5-1-1 【天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業】★

		26決算額	6,866千 円	27予算額	37,683千 円	28予算算定額	1,696千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」を実現するため、地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組について、区が有する広報媒体等を活用して情報発信するなどの支援を行う。 ・イメージポスターの作成・配布 ・上町台地周遊マップ(28年度版)の作成・配布 10,000部 ・区広報紙・ホームページによる情報発信 随時		・天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等のうち、区による支援が行われていると感じる割合 80% 【撤退基準】 区による支援が行われていると感じる天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等の割合が50%未満の場合は、事業手法を再構築する。				
			前年度までの実績				
			平成27年度 ・天王寺 真田幸村博の開催 2回 ・真田幸村回遊ロードサインの整備 ・真田丸顕彰碑(1基) ・真田山回遊コース・天王寺回遊コース(案内サイン16基)の設置 ・天王寺ええとこ発見真田幸村ウォークラリーの実施 3コース ・上町台地周遊マップの作成・配布 10,000部 平成26年度 ・天王寺 真田幸村博の開催 2回				
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題6【大きな公共を担う活力ある地域社会づくり】	
計画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞
	多様な主体の協働により全ての地域において課題が共有され、解決に向けて取り組まれている状態
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	【天王寺区における住宅の建て方】（平成25年 住宅・土地統計調査） 集合住宅の割合 平成15年：76.1%⇒平成25年：85.3%
	【天王寺区における単独世帯率】（平成22年 国勢調査） 平成7年：39.4%⇒平成22年：48.5%
	【天王寺区における高齢単身世帯率】（平成22年 国勢調査） 平成7年：7.5%⇒平成22年：10.3%
	【平成26年度区民モニター】※＜＞は25年度区民モニター ・住んでいる地域で日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合 46.7%＜30.7%＞ ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 40.3%＜22.4%＞ ・地域運営にさまざまな活動主体が参画し、会計をオープンにするなど、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合 25.6%＜28.3%＞ ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを知っている区民の割合 36.2%＜28.6%＞ ・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合 36.7%＜9.2%＞
	【平成26年度地域へのアンケート】※＜＞は25年度アンケート ・中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合 80.8%＜77.6%＞
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
	住んでいる地域で日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合など向上している指標は多いが、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合は低下しており、地域活動の自律的な運営支援が十分でないと考えられる。
自己評価	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞
	豊かなコミュニティを築き、より多くの地域住民が地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けて協働して活動し、活力ある地域社会をめざす地域住民の取組への積極的な支援。
自己評価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 6-1 【豊かなコミュニティの実現】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態	身近な地域における「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」の大切さを伝えるとともに、人と人とが会いにつながる機会を促進する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	
平成29年度までに 50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

	A:順調 B:順調でない
--	--------------

具体的取組 6-1-1 【人と人とのつながりづくりの促進】★

計画	取組内容	26決算額 — 円 27予算額 — 円 28予算算定額 — 円
	・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、地域における見守り活動等の取組の紹介を通して、身近な地域でのつながりの大切さを伝える。 区広報紙 随時 ・区の財政的支援を受けて行われるイベント・活動について、その効果(地域住民同士のつながりの拡大)を測るためのアンケート調査等を実施するとともに、参加者や運営スタッフのつながりが広がるよう主催者等に働きかける。 アンケート実施 9地域	業績目標 (中間アウトカム) 地域活動時に実施するアンケートで、地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成27年度 区広報紙による情報発信 アンケート実施 9地域 ※達成状況(未測定) 平成26年度 区広報紙による情報発信 アンケート実施 9地域 ※達成状況 84.3% 平成25年度 区広報紙による情報発信 アンケート実施 9地域 ※達成状況

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

めざす成果及び戦略 6-2 【多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> ・校区等地域において、様々な活動主体が協働し、自ら地域課題の解決に取り組み、その情報発信に努めるなど、地域が自律的に運営されている状態 ・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会など様々な活動主体の連携・協働により進められている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域活動協議会に対し、民主的で開かれた組織運営や会計の透明性確保、また法人格取得など社会的信用を高めるための取組を支援するとともに、地域活動協議会が行う情報発信力の向上を支援する。 ・地域活動協議会をはじめ、さまざまな活動主体が地域課題等を情報共有し、連携・協働に向けて話し合うことができる場を提供するとともに、さまざまな活動主体の取組を紹介する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合 平成29年度までに 50%以上 ・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 平成29年度までに 50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 6-2-1 【地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援】★

		26決算額 16,053千 円	27予算額 16,913千 円	28予算算定額 16,599千 円
計画	取組内容 ・区ホームページに、地域活動協議会に交付する公金の使途を掲載する。 公金の使途公表 1回 ・地域活動協議会がより一層民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されるよう、中間支援組織を活用して啓発・支援を行う。 会計説明会 1回 ・地域活動協議会が独自で行う情報発信の取組を、中間支援組織を活用して支援する。 情報発信支援 9地域	業績目標<中間アウトカム> 情報発信力が向上したと感じる地域活動協議会の割合 60%以上 【撤退基準】 40%未満の場合には事業を再構築する。		
		前年度までの実績 平成27年度(予定) ・公金の使途公表 2回 ・会計説明会 2回 ・情報発信支援 9地域 ※達成状況(未測定) 平成26年度 ・公金の使途公表 2回 ・会計説明会 2回 ・情報発信支援 9地域 ※達成状況 39.2% 平成25年度 ・公金の使途公表 2回 ・会計説明会 2回 ・情報発信支援 9地域		

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組6-2-2		【校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援】		26決算額	—	円	27予算額	—	円	28予算算定額	—	円
計画	取組内容						業績目標（中間アウトカム）					
	・校区等地域を超えたまちづくりに関する活動を区ホームページなどで紹介する。 ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載する。 情報や検索サイトの掲載 随時						校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 2件 【撤退基準】 1件以下の場合は事業を再構築する					
							前年度までの実績 平成27年度(予定) 活動の紹介 3件 平成25・26年度 区ホームページに区内のNPO法人を検索するページを掲載					
中間振り返り	業績目標の達成状況						課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成											
	戦略に対する取組の有効性						○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績						課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況						改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成											
	戦略に対する取組の有効性						○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)					

めざす成果及び戦略 6-3 【地域資源の循環】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞ ・地域や社会の課題の解決やニーズへの対応に向けた取組みがビジネス手法により継続的に展開されている状態 ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットが理解され、本市の事務事業が社会的ビジネス化している状態	戦略＜中期的な取組の方向性＞ ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを伝えるとともに、地域におけるビジネス化の取組を支援する。 ・区で実施している事業で、既に社会的ビジネス化に取り組んでいる事業が、継続して展開できるようにする。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・容易に地域資源を得ることができる仕組みがあり、その情報が活用できると感じる区民の割合 平成29年度までに 50%以上 ・地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 平成29年度までに 1件以上 ・社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 平成29年度までに 1件以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 6-3-1 【本市事務事業の社会的ビジネス化の推進】

計画	取組内容 ・既に社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施する。 継続実施 5件 ・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、天王寺区での社会的ビジネス化の具体例を紹介する。 具体例のホームページ掲載 随時	26決算額 — 円 27予算額 — 円 28予算算定額 — 円	業績目標（中間アウトカム） 継続実施 5件 【撤退基準】 2件以下の場合には事業内容を再構築する。
			前年度までの実績 平成27年度 寺田町公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化 平成26年度 上汐公園清掃、東高津公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化 平成25年度 五条公園清掃、寺田町駅前駐輪啓発にかかる業務の社会的ビジネス化

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	

戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)
--------------	---

めざす成果及び戦略 6-4 【地域公共人材の充実と中間支援機能の充実】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> ・地域の活動において、地域公共人材や中間支援組織が活躍している状態 ・多様な活動主体の課題やニーズに応じた支援が中間支援組織の活用により行われている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・さまざまな活動主体の調整や話し合いを促す人材を発掘するとともに、活用の機会を構築する。 ・地域活動協議会の自律的な地域運営の推進にむけ、さまざまな支援を中間支援組織を活用して実施する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合 平成29年度までに 50%以上 ・多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合 平成29年度までに 50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 6-4-1 【地域公共人材の充実と活用の促進】

		26決算額	248千円	27予算額	307千円	28予算算定額	—	円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム） 新たな活動の企画検討の場等で地域公共人材を活用した地域活動協議会 1協議会以上 【撤退基準】 上記が0の場合は事業を再構築する。						
	・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載するとともに、中間支援組織を活用し、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介する。 随時	前年度までの実績 平成27年度 企画・取組の事業化 2事業(予定) 平成26年度 企画・取組の事業化 2事業 平成25年度 企画・取組の事業化 2事業						

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組6-4-2 【中間支援組織の活用】★

		26決算額	13,947千 円	27予算額	14,132千 円	28予算算定額	13,869千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	中間支援組織が、各地域活動協議会の状況を把握し、また要望等をふまえ、具体的活動を支援する。 地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域			地域活動協議会活動に対して、中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 60%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
			平成27年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況(未測定)				
			平成26年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況 80.8%				
			平成25年度 地域活動協議会運営支援 9地域				
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
戦略に対する取組の有効性			○: 有効 ×: 有効でないため見直す ―: 中間アウトカム未設定(未測定)				